



第3回「アトツギ甲子園」を開催します。～後継者の家業を活かした新規事業アイデアピッチイベント～

経済産業省より第3回「アトツギ甲子園」の開催が発表されました。

「アトツギ甲子園」とは、先代経営者がこれまでに培ってきた人材やノウハウ等の経営資源を活かしつつ、「新たに提供できる製品やサービスは何か」、「いま起っている社会課題を解決するために貢献できることは何か」、「自分自身が熱狂できるビジネスは何か」、自問自答した先にある新規事業アイデアを、全国各地から集まった後継者が発表する舞台です。第3回を迎える今年度は、西日本・中日本・東日本の3ブロックで地方予選大会を設け、地方予選大会を勝ち抜いた後継者が集う決勝大会(ファイナル)を開催し、最優秀受賞者には中小企業庁長官賞を授与します。

■エントリー資格

■39歳以下の中小企業後継者
(39歳以下の1983年4月以降に生まれた方、代表権があっても参加可能)

■特典

最優秀賞者

- 「中小企業庁長官賞」を授与。
- 公式サイトに最優秀賞者取材記事を掲載。

ファイナリスト (決勝大会出場者)

- 公式サイトに取材記事を掲載。
- 決勝大会までに新規事業アイデアをブラッシュアップするメンタリング機会を提供。

エントリー者

- 中小企業庁運営の後継者コミュニティに参加可能。
- 「アトツギ甲子園」公式サイトホームページに新規事業アイデアを掲載

■スケジュール

- 2022年11月4日 エントリー受付開始
- 2022年11月下旬 「アトツギ甲子園」説明会(後継者向け・支援機関向け)
- 2022年12月26日 推薦受付締切
- 2023年1月6日 エントリー受付締切
- 2023年1月9日 一次審査書類提出締切
- 2023年1月20日頃 地方ブロック登壇者決定(書類審査結果発表)
- 2023年2月3日 地方予選大会 西日本ブロック(中国、四国、九州、沖縄)
- 2023年2月10日 地方予選大会 中日本ブロック(中部、関西)
- 2023年2月17日 地方予選大会 東日本ブロック(北海道、東北、関東)
- 2023年2月下旬 決勝大会出場者に対して先輩経営者によるメンタリング
- 2023年3月3日 「アトツギ甲子園」決勝大会

エントリー方法や詳細は「アトツギ甲子園」特設ホームページをご確認ください。



ワンポイント 健康コラム 冬の hypertension に要注意!

健康第一

冬は寒さの影響で血圧が大きく変動する季節です。朝目覚めて布団から出たとき、暖房が効いている室内から外へ出たときなど、急な寒さを感じると、血圧が急上昇します。日ごろから血圧が高い人は、狭心症の発作や心筋梗塞など、思わぬ事態につながることもあるので注意が必要です。また、血圧が正常の人も高血圧予防のために健康的な生活を心がけましょう。

■高血圧を防ぐ生活習慣のポイント

高血圧を防ぐために、減塩や運動などを実践しましょう。

①食事

塩分を控えることを中心に、次のポイントに気をつけた食生活を心がけましょう。

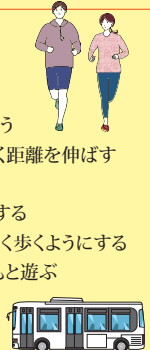
- 1日3食、バランスのよい食事をする
- 薬味や柑橘類の果汁、香辛料などを利用して、塩分を控える
- 塩辛や漬物など、塩分量の多い食品は少量にする
- 麺類の汁を飲みきらない
- 野菜やきのこ、海藻類、豆類などを十分に取る
- 体内の余分な塩分を排泄する作用のあるカリウムを多く含む新鮮な野菜や果物をとる



②運動

週に1回、30分以上の運動を習慣にしましょう。また、運動する時間がとれない場合でも、暮らしの中で体を動かす機会を増やしましょう。

- ウォーキングやジョギングなどの有酸素運動を行う
- 買い物やランチはいつもより遠くの店に行き、歩く距離を伸ばす
- 駅や会社内では階段を使う
- 勤め先の休憩時間や家でストレッチ等の体操をする
- 遠くのトイレを使う ●いつもより歩幅を広く、速く歩くようにする
- 掃除や洗濯などの家事をこまめにする ●子どもと遊ぶ
- バスや地下鉄を使うときは、ひとつ手前で降りる、もしくは、ひとつ先から乗る



③ストレス

ストレスをためないよう心がけましょう。ストレス解消には、自分なりのストレスコントロール術を身につけておくことが大切です。

- 十分な睡眠をとる
- のんびり過ごす時間を持つ
- 趣味や友人との交流などを楽しむ



経理マンが行く

時代



今年もあとわずかとなりました。令和の時代もあっという間に4年が過ぎようとしています。脳科学者の中野信子さんは、「昔は良かったなあ」という言葉が頻繁に出てきたら、前頭前野が老化しているサインだとおっしゃっています。前頭前野とは、脳30%を占め、「考える・記憶する・感情をコントロールする・判断する」などの人間が人間らしくあるために必要な部分で、前頭前野が衰えると、新しいものや自分と違うものが受け入れにくくなるというのです。人は歳を重ねていくにつれ、心が動きにくく、目の前のことに感動が生まれにくくなるとも言われますが、そのまま放っておくと、過去のことにしか興味がわなくなってしまうのです。大人よりも子どもたちが笑ったり、騒いだりしているのも、初めての体験、感動が多いからなんですね。それでも私は「昔は良かったなあ」と思います。バブル全盛期の1980年代は、勢いがありました。自動車生産台数がアメリカを抜いて世界第1位となり、「24時間戦えますか」のCM通り、休む暇もなく、世のサラリーマンは忙しかつたけれど活気に溢れていました。一方で、新宿駅西口ではバス放火事件が発生。川崎市で予備校生が両親を金属バットで殺害する事件が発生するなど、家庭内暴力や校内暴力などの社会問題の深刻化が目立ちました。また、詰め込み教育から、「ゆとり教育」が始まった年ともいわれています。プロ野球では、長嶋茂雄氏が読売巨人軍監督を辞任し、読売巨人軍の王貞治氏が現役引退しました。福井謙一京都大学教授が日本人初のノーベル化学賞を受賞、大相撲では千代の富士貢が横綱に昇進しました。またローマ法王ヨハネ・パウロ2世やマザー・テレサが初来日された年代でもあります。寺尾聰氏の「ルビーの指環」が大ヒット、テレビアニメでは「Dr.スランプ アラレちゃん」、バラエティ番組では「オレたちひょうきん族」の放送が開始された一方で、22年半続いた「スター千一夜」が放送終了し、ピンク・レディーが解散しました。500円硬貨が発行され日本電信電話公社からテレホンカード、NECからはパーソナルコンピュータPC-9801、ソニーからは世界初のコンパクトディスクプレーヤーとCDソフトが発売されました。中央自動車道が全線開通し、東北新幹線ならびに上越新幹線が開業します。しかし、ホテル・ニュージャパン火災事故などの悲劇も発生しました。「笑っていいとも!」の放送が開始され、中曽根首相とアメリカのレーガン大統領との「ロン・ヤス関係」が話題となり、ロッキード事件の公判で、元首相の田中角栄被告が実刑判決となります。中国自動車道が全線開通、東京ディズニーランド開園、ファミコンの発売もこの年代です。さらに、NHK朝の連続テレビ小説「おしん」が最高視聴率62.9%を記録、日本の平均寿命が男女とも世界一となり、ロサンゼルスオリンピックでは柔道の山下泰裕氏が金メダルを獲得、福沢諭吉の1万円札など新札が発行されました。国内研究用ネットワーク「JUNET」の運用が開始され、日本のインターネットの礎となります。国民的歌手坂本九らを含む乗客520人が死亡する大惨事となった日本航空123便墜落事故が発生したのもこの年代でした。他方、日経平均株価が終値ではじめて3万円を突破し、外資準備高が大幅に増加、西ドイツを抜いて世界1位となりました。また、青函トンネルの開業、瀬戸大橋の開通、そして東京ドームが完成しました。どうでしたでしょうか。なつかしいフレーズ、大切にしている思い出などありましたでしょうか。こうして駆け足で「過去」を振り返ってみると、「いま」と「これから」を考えるための重要な材料になっていることを願ってやみません。勢いのあった「過去」をやっぱりあの時代は良かったなあと思うのは私だけでしょうか。

